



北九州市議会議員

# 大久保むが

## 市政レポート

MUGA TIMES

【発行日】2022年1月8日 【発行人・編集人】大久保むが



## 新年あけましておめでとうございます



昨年新年早々に市議会議員選挙が行われ、皆様の力強いご声援により4期目の当選を果たさせていただきました。本当にありがとうございました。

ちょうど新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言下での選挙となり、直接顔を合わせることがないままの状態が続いておりますが、引き続き、皆様の声を議会へ届け、想いを形に、わくわくする街の実現に向けて努力を続けて参ります。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の大きな波が来たかと思えば、オリンピックの開催や衆議院議員選挙、本市では世界体操、世界新体操の史上初の同じ都市での同時開催など、本市にとって重大なことが続いた1年となりました。

この原稿を書いている12月末時点では、コロナ禍は収束に向かっているのかと思わせられる状況でもありますが、変異を続けるウイルスでもありますから、油断せずに対策を続けていかねばと考えます。

さまざまな制約が課せられてしまい、厳しい生活を強いられる方々も多いと思います。政治にできることをしっかりと考え、力を尽くして参る決意です。

また、この「市政レポート」も初当選後の2009年4月第1号発行から50回目の発行となりました。これもひとえに支えて下さった皆様のおかげと心より感謝いたします。今後は100号を目指し、これまで以上に北九州の「今」を分かりやすく丁寧に発信し続けて参ります。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

## 令和3年12月定例会 (令和3年12月2日～12月10日)

令和3年12月定例会は、補正予算221億1,257万円が上程されました。この中には給付方式が大きな議論となり、政府の見解が右往左往した18歳以下の子どもへの現金・クーポンの配布141億円をはじめ、3回目のワクチン接種に関する体制の確立に関する事業費として70億円などが盛り込まれています。





## いじめ問題専門委員会の在り方について

令和3年9月議会の一般質問において「いじめ問題」について質問を行い、いじめ問題専門委員会の在り方を取り上げました。その後、いじめの被害児童保護者から第三者調査委員会を構成する委員について、公平で中立であるのか、という疑問が投げかけられました。

現在、本市では初めて、いじめ対策基本法に基づく“第三者調査委員会”を設置していますが、このメンバーは、常設の“北九州いじめ問題専門委員会”からのメンバーがスライドする形で構成されています。

しかし、そうなるといじめ問題が起こった際に、常設の“北九州いじめ問題専門委員会”のメンバーの中に、そのいじめ問題の関係者が絶対に“いない”とは限りません。被害者側から出された様々な要望などを鑑みると、第三者調査委員会の設置にあたっては、常設の北九州いじめ問題専門委員会から委員をスライドさせるのではなく、新たに保護者などの意向も踏まえた第三者調査委員会を設置することが望ましいと思われる。これこそが被害児童と保護者から信頼される形の第三者調査委員会となり、結果として問題解決までの時間が掛からないのではないかと考え、教育委員会の考えを質し、提言を行いました。

## アフターコロナの再スタート支援について

新型コロナウイルス感染症は私たちの社会活動、日常生活や生活様式など 様々な部分に大きな影響を与え、かれこれ2年が過ぎようとしています。

生活様式の変化、とりわけ人と人との接触が厳しく制限されることによって、経済的に非常に厳しい状況が続いています。

帝国データバンクによりますと、先行きの見通しが立たない中で、財務内容やキャッシュに余裕がある企業などが「あきらめ型」の廃業や解散を選択している傾向があることが指摘されています。

地域を歩くと、これまで埋まっていたテナントが空いているという場所が明らかに増えていると感じております。このような状況が続く中で倒産、廃業で影響を受けた方たちが再びこの街で新たなチャレンジをすることができるよう、再スタートアップ支援事業を始めるべきではないかと考えました。

「もう一度チャレンジをしよう、しかし、失敗できない。」という思いで二の足を踏んでいる人たちの再スタートアップを市が応援している、ということになれば結果的に、この街なら1度目のチャレンジもしやすいということにも繋がり、前向きで積極的なチャレンジへの後押しになるのではと考え政策提言しました。

## 本市の観光振興について

北九州市観光プランは平成26年に策定され、これを基に現在の観光振興施策は行われています。コロナ禍で新しい観光プランの策定が延期されているとのことですが、早急に新たな施策に着手し、その取り組みを始めなければならないと考えます。

「観光」とひと口に言っても、見学、体験、買い物、食など様々な要素があります。本市で行われる様々なイベント・スポーツなどの大規模な大会や会議などで本市を訪れる方たちに、これら本市の観光に少しでも触れて頂くことは、本市の良さを知ってもらう絶好の機会となります。

その中でも「食」に関しては、観光に訪れた人達は自然とその地域独自の名物や特産品を食したいと考えるものです。そういう意味では、食を通じて本市での良い思い出を作ってもらうことは、観光における重要な柱となります。

「食」を本市観光の柱の1つに据えることが肝要ではないかと考え、本会議で質しました。

## <続・交差点から北九州市を変えよう！> 黒崎バイパス出入り口周辺の道路環境の改善について

令和4年度に陣原ランプ・春の町ランプの完成が近づき、北九州市の西側の住民の悲願であった黒崎バイパスの完成は、残すところ黒崎西ランプのみとなっています。八幡西区から八幡東区にかけて国道3号は、かねてより慢性的に激しい交通渋滞が起こっていましたが、国道3号黒崎バイパスが部分的に完成しただけでも、陣原から西本町1丁目までの所要時間が10分以上短縮されるなど渋滞が大きく緩和されました。

しかし、国道3号黒崎バイパスへと向かう幹線道路や出口の周辺では、交通需要の増大に対応できていない状態で、いまだに渋滞する箇所があります。

また、全市的には人口減少傾向にある中でも、ひびきの地区や黒崎南部、折尾地区など局所的に住宅開発、マンション建設などが集中している地域があり、中でも商業施設が相次いで建設、開業を続けている黒崎地区の幸神交差点や、ひびきの地区に繋がる本城古開交差点、本城2丁目交差点などでは慢性的な渋滞が見受けられます。

こうした交通需要が増大している地区から国道3号黒崎バイパスへ繋がる道路と、そこに交わる交差点の渋滞・混雑の緩和を目指し、また、市民生活と地域の経済活動を活発にし、黒崎バイパスの整備効果を最大限に発揮するためにもバイパス出入口に通じる周辺道路で交通渋滞が生じている主要な交差点の改良を国と協力して積極的に行うべきであるとの提案と要望を行いました。

# 令和3年を 振り返る

昨年の市議選以降、議会でさまざまな役職を与えられ、その役割を果たすべく活動して参りました。

本年もさらに一步でも二歩でも政策の実現へ向けて前進できるよう昨年を振り返ってみたいと思います。

## 会派の政調会長に任命されました

市議会では考え方や市に対する志を共にする同志で結成する会派というものがあります。今期は若松区の三宅まゆみ市議が会派の代表となり、私は会派の政策調査会長(政調会長)を承りました。

政調会長は会派での政策の構築、勉強会の開催、市執行部への政策・予算要望、議会中の議員提出議案の提出と賛否の判断、会派視察の取りまとめなど、多岐にわたる分野を取り扱っています。



## 経済港湾委員会の委員長に

市議会の委員会は2年間をひとつの区切りとして、所管事務調査という重点項目を決め時間をかけて調査や議論を行っています。

現在私が委員長を務めている経済港湾委員会では、地元経済の振興をはじめ、働く方々や企業・創業等の支援、北九州市の経済基盤を支える空港や港、物流の根幹をなすこうしたインフラを生かした戦略、新たな企業や産業の構築など本市経済活動の課題を取り扱っています。

新たな産業の柱としての洋上風力発電事業の西側の拠点港整備と関連産業の集約、そして陸海空が揃い、九州の玄関口であることの優位性を活かした物流関連産業の集約などに向けての議論を活発化させています。



## 北九州空港機能強化・利用促進特別委員会

空港の存在は都市発展の肝であると考えています。現在、北九州空港は大韓航空の貨物定期便が就航し、昨年秋に更に増便されたことで、北九州空港の貨物取扱高は史上最高を更新することとなりました。

また昨年11月には、ロシアのボルガ・ドニエプル航空の世界最大の輸送機アントノフを使いH2Bロケットに積み込むための衛星を北九州空港へ空輸し、その後空港から船に積み込み種子島へ運ばれました。いわゆるシーアンドエアという仕組みでの輸送が行われ、空港機能を存分に使い北九州空港は大きな存在感を発揮しました。

増大する貨物需要に対応するため、空港機能を増強し西日本の貨物物流拠点の地位を固め、関連産業の集約、誘致へと繋げ、北九州市全体の経済浮揚につながるよう力を尽くして参ります。

## 議会運営委員会委員

議会におけるルールを話し合ったり、定例で開催される議会の日程や発言の順番などを決めたりしています。

また、地震などの緊急時の対応や、今回のようなコロナ禍での議会の在り方などについても今後スピード感をもって議会が止まることがないように議論を行い、対策について取り組んでいます。



### 大久保むが こだわりの北九州市の情報を絶賛配信中!!

## You Tube

チャンネル登録も  
宜しく願います

チャンネル登録 ▶



コチラから↓

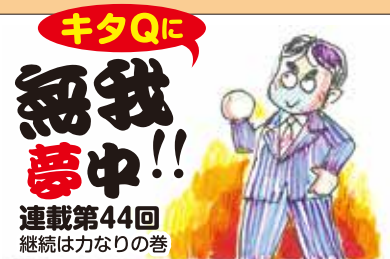
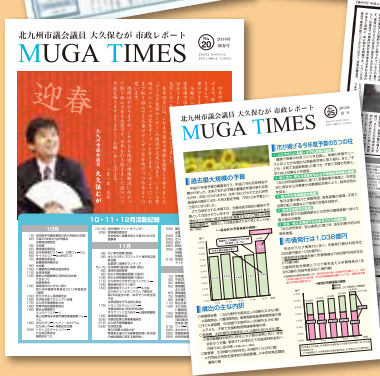


# おかげさまで 50号

2009年初当選以来、  
 「北九州の政治はどういうことを行っているのか」  
 「北九州の行政は何をしているのか」皆様の声はどのよう  
 に議会に届いているのか・・・分かりやすく丁寧にタイム  
 リーな情報をお伝えしたいと思い始めた「大久保むが市政  
 レポート」が50回目を発行することができました。これも  
 皆様方のおかげと、ひとえに感謝いたします。初当選時の  
 初心を忘れることなく、100号を目指して皆様に情報を  
 発信し続けて参ります。



第1号



## 北九州市議会議員 大久保むがプロフィール

昭和63年枝光小学校卒業。平成3年枝光北中学校卒業。平成6年福岡県立北筑高等学校卒業。平成10年九州国際大学国際商学部卒業後、平成12年から衆議院議員・北橋健治氏の秘書に。その後、さらなる政治の勉強をするため、平成18年北九州市立大学・法学研究科に入学、政策科学を学ぶ。勉学のかたわら、参議院議員・大久保勉氏の秘書を平成19年まで務める。平成20年3月、北九州市立大学・法学研究科を卒業。同時にヘルパー2級取得。平成21年北九州市議会議員に初当選。総務財政委員会に所属。2期目前半に環境建設委員長に就任。3期目の前半に教育文化委員会。現在は経済港湾委員長。「国民民主党」「立憲民主党」の合流に参加せず現在は無所属。NPO法人「KID's Work」スタッフ。

### 大久保むが事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松2-9-2 Tel 093-980-6806 Fax 093-980-6807  
<https://www.mugamuga.net/> E-mail yahatanishi@mugamuga.net

